

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化・スポーツ振興事業			会計	款	項目	大手	小事
				01	10	01	03	01 01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	教育総務課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	武田 淳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化・スポーツ等の大会等へ出場又は優秀な成績を収めた市民及び団体	意図	文化・スポーツの振興・奨励
事業内容	文化スポーツ等の大会へ出場し、又は優秀な成績を収めた市民、団体からの申請により、審査会の意見を聞いて、教育委員会が奨励金の交付の可否を決定し、奨励金を交付する。			
事業開始から現在までの状況変化				

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	奨励金交付件数	13	10	8	件	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総計(a=b+c)		1,513,680	2,186,620	2,046,360			
事業費(b)(円)		150,000	105,000	90,000			
うち一般財源		150,000	105,000	90,000			
職員給与費(c)(円)		1,363,680	2,081,620	1,956,360			
人役・職員(人)		0.18	0.29	0.28			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	文化・スポーツの振興を推進するため、交付基準等の見直しを図っていく。	③取り組みの課題	例年、特定の人への奨励金の交付の例がある。
②今年度(H25)に実施した取り組み	文化・スポーツの振興を推進するため、交付決定を行っている。	④今後の改善計画	一部の種目に偏る傾向があるため、公平性の観点から交付対象を含めた制度設計について検討する。